

科目名	ヒューマンバイオロジー								
英文科目名	Human Biology								
担当教員	野部裕美、樋口桂								
授業形態	講義								
学年	1 年	クラス	2	開講学期	前期	単位区分	必	単位数	2
ディプロマポリシー	国家試験に合格できる十分な学力と保健・医療・福祉分野における作業療法実践に必要な知識を持っている。								
授業の目的・到達目標	【授業目的】 生命科学の基礎を学び、基礎専門科目である生物系の学問を理解するための土台となる知識を身につける。ヒトの構造や機能を学び、生物現象の本質を理解する。さらに、医学関連分野に応用できる知識および考える力を身につける。 【到達目標】 ・ヒトの生体を構成している細胞・組織の構造と機能について説明することができる。 ・生体を構成する物質について説明することができる。 ・遺伝子について説明することができる。 ・ヒトの生殖と発生について説明することができる。 ・生体内反応におけるエネルギー産生系、代謝反応系について説明することができる。								
授業概要	1. 細胞の概要 2. 細胞の基本構造と機能 3. 組織の構造と機能 1 4. 組織の構造と機能 2 5. 生物の基本的な性質 6. 生体を構成する分子 7. 物質代謝 8. エネルギーの獲得 9. 生体を構成する物質と遺伝子と代謝のまとめ 10. 遺伝 11. 生殖と発生 12. 感覚系、神経系、運動系 13. 恒常性の維持 14. 免疫系 15. 脳の発達								
学習課題 予習・復習	1-2 回目：予習として、教科書 pp.19-29（第 3 章）を熟読してくる。 復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。 3-4 回目：予習として、教科書 pp.62-70（第 7 章）を熟読してくる。 復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。 5-6 回目：予習として、教科書 pp.1-18（第 1、2 章）を熟読してくる。 復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。 7 回目：予習として、教科書 pp.40-48（第 5 章）を熟読してくる。 復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。 8 回目：予習として、教科書 pp.71-79（第 8 章）を熟読してくる。 復習として、教科書の内容と授業で扱った内容についてまとめる。 9 回目：予習として、教科書（第 1～8 章 該当する章）を熟読してくる。 復習として、授業で扱った内容についてまとめる。 10-11 回目：予習として、教科書 pp.49-61（第 6 章）、教科書 pp.111-120（第 12 章）を熟読してくる。 復習として、教科書の内容と授業で扱った内容についてまとめる。 12-14 回目：予習として、教科書 pp.80-110（第 9-11 章）を熟読してくる。 復習として、教科書の内容と授業で扱った内容についてまとめる。 15 回目：予習として、教科書 pp.141-150（第 15 章）を熟読してくる。 復習として、教科書の内容と授業で扱った内容についてまとめる。								

	各回の授業に対して予習・復習時間は、合計で4 時間程度とする。
授業方法	・講義を中心に行う。 ・授業の中で確認問題を行い、その都度回答と解説を行う。
成績評価 の基準	定期試験(90%)、授業への積極的な発言(5%)、コメントシートの記載(5%)
教科書	「ヒトを理解するための生物学」 八杉貞雄 著、裳華房、2021 年 8 月 ISBN 978-4-7853-5242-4
参考書	「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」 和田勝 羊土社 2011 年 (第2 版)
実務経験の ある教員に よる授業	
実務経験の 内容	-
実務経験の 当該科目へ の活用	-